

外国の小学校とのインターネットでの 交流体験を活用した英語活動

宮城県／仙台市立人來田小学校 教諭 栄利 滋人

概要

本研究は、アメリカの小学校の教師及び小学生とインターネットを使って会話し、交流することにより、児童の実践的コミュニケーション能力を育成するものである。当初は、作品交流や録画交流の計画であったが、小学生同士が直接ライブで話す交流が実現した。初めは教師が補助しながらの会話であったが、交流を続けるうちにヒアリング力が向上し会話が続くようになった。

本研究では、ライブで話すことができる環境で、小学生同士が英語でコミュニケーションをどのように進め、どのような英語表現を身につけていくのかを検証していく。また、このようなインターネットで会話ができる新しい環境での取り組みで、本研究が高学年の子供たちにどんな変化をもたらすのか、また、どんな英語表現が実践的コミュニケーションとして有効なのかを明らかにしていく。

1 はじめに

この研究は、筆者がアメリカの小学校教師とインターネットで交流したことがきっかけとなっている。交流を続ける中でインターネットによるバーチャルな交流システムを紹介され、筆者自身がこのシステムを活用してアメリカの小学生と話したり、日本のあいさつを教えたりする体験をした。このシステムでは、電話のように話し、絵を描き、文字を打ち、写真を見せ、Web ページを紹介できるため、英語に自信がない筆者でもコミュニケーションがとれることを実感できた。このシステムを使えば小学生でも、絵を描いたり、写真を見せたり、線を書き

込んだりしながら英語でのコミュニケーションが成り立ち、このようなインターネット環境は小学生の英語活動に非常に効果的に作用するだろうと考えた。また、インターネットを活用することで外国の子供たちと日本の子供たちの交流が可能となり、ALT などの大人の外国人とは違う子供同士のコミュニケーションの興味関心が高まることも期待できた。さらに、日本の小学校とアメリカの小学生がインターネットで話すことを軸とした交流活動を進めていくことで、実践的に英語を使う英語力の向上が期待できるとも考えた。

対象児童は、筆者が担任する小学6年生である。彼らは1年生のときから年間3、4回程度 ALT との英語活動を行ってきている。それ以外に3年生から総合的な学習の時間で英語のゲームや歌などを年間5、6時間行っている程度で、これまでの英語活動の回数は多くはない。5年生からは筆者が担任し、15時間の英語活動を行った。これまでに扱った表現は、自分の名前の言い方、年齢の言い方、好きな色・くだもの・動物・スポーツ・食べ物の言い方。大好きなものの言い方、数の言い方、曜日・月の言い方、天気の違い、時刻の言い方、買い物での言い方、道案内の言い方などである。その内容は、英語の歌を歌ったり、英語のビデオを見たり、英語のゲームをしたりしながら英語表現に触れていく活動がほとんどであった。これらの英語表現を扱ってはきたが、児童が英語の質問を聞き取ったり、英語で答えたりする力はそれほど身につけているとは言えない。それは、ALT と1対1で話す場面で、抵抗感があつたり、質問の意味がわからなかったり、英語で答えられなかったりする児童が多いことからわ

かる。また、高学年になって、英語の歌やゲームへの興味・関心は低・中学年のときよりも下がっている児童も多くなっている。

小学校英語活動では、このような高学年の発達段階に効果的な実践が課題として研究されている中、本研究は、アメリカの小学生とインターネットで話して交流することで高学年の子供たちにどんな変化がもたらされるのか、また、どんな英語表現が実践的コミュニケーションとして有効なのかを明らかにするものである。

2 実践の手順と方法

まず第1に、アメリカの小学校と絵や版画などを送る交流をし、その後インターネットを活用した交流に発展させ、交流に対しての興味関心を高める。第2に、インターネットで電話のように会話する活動をし、遠く離れたアメリカ人の教師と英語で話す体験をさせる。同時に、学校間の交流のつながりを実感させ、英語で話す交流に興味を持たせる。第3に、英語で自己紹介や日本の学校の紹介をした様子をコンピュータで録画し、インターネットでアメリカの小学校に送り、相手校も音声付きの録画ファイルを送り、音声による児童間の交流を行う。第4に、時差の問題があるが、日本の小学生とアメリカの小学生がインターネットを活用してライブで会話をする活動を行う。このように、アメリカの小学校との交流に興味を持たせながら、英語を話す環境を作り、実際に会話をしながら英語表現に親しませていく。交流の内容には、児童に身近な話題を取り入れて興味関心を高めていく。さらに、英語に対する意識調査と児童英検のテストを行い、児童の変容を調べる。

3 交流の内容

3.1 インターネットでイラストを送っての交流

これまで My favorite ～の表現に慣れ親しんできたので、児童たちは自分の大好きな食べ物の絵をコンピュータの描画作成ソフトで作り、それをボストンの交流校にEメールで送った。ボストンの子供たちは、その絵に英語で声を吹き込んで送り返してく

れた。児童たちは自分たちの絵にボストンの小学生が英語で吹き込んでくれたことにとても興味を示していた。そして、ボストンの小学生が話す英語を聞いて、聞き取ったり、発音をまねしたりして、今まで自分たちが話していた My favorite ～の言い方との相違点をとらえることができた。この交流活動は、外国の小学生が自分たちの絵に対して反応を示してくれるので、外国の小学校とのつながりを強く意識させるものとなった。また、自分たちがこれまで覚えた My favorite ～の英語をネイティブスピーカーの英語で聞く体験は、ネイティブスピーカーのスピードの速さを感じたり、聞き取れない難しさを感じたり、一部を聞き取れたうれしさを感じたりする体験となった。

3.2 アメリカの教師と日本の児童によるバーチャル会話

アメリカ・ボストンの小学校教師と児童がインターネットで電話のように直接話す活動を行った。ボストンと日本では、時差が11時間程度あるため、日本は朝、ボストンは夜の時間帯でインターネットによる交流を行った。日本時間は午前9時、ボストン時間は午後8時の時間帯で会話をした。バーチャルクラスルームというシステムを使い、ボストンの教師が英語で名前、年齢、学年、好きなスポーツ、好きなフルーツなどの質問をし、児童が英語で答えた。

実際に会話で扱った表現

実際の会話では以下のような表現を扱った。

Hello! What is your name please?

How old are you?

What grade are you in?

What sports do you like?

What is your favorite fruit?

Do you like apples?

実際の活動では、筆者が英語の質問の意味を日本語で教え、英語の答え方もオウム返しで教えてから答えることがほとんどであった。教室で筆者が話す英語の同じ質問には答えることはできるが、今回の活動では、児童がネイティブスピーカーの質問をすぐには理解できなかったことから、児童はネイティブスピーカーの英語に慣れていないことがわかる。また、コンピュータを使つてのインターネットの会

話に慣れていないことなども影響していると考えられる。しかし、「外国の先生とインターネットで話をした」という体験そのものへの興味関心は高く、英語で会話する活動に対して「またやってみたい」と意欲的になった。

3.3 紹介したいことを録音して交流

ボストンの小学生が好きな食べ物のイラストを英語で紹介した様子をバーチャルシステムで録画し、それを日本の児童に見せてくれた。また、ボストンの6年生のクラス写真にポインターを合わせ、名前を英語で紹介した様子を録画したものも見せてくれた。これをまねして、日本の6年生児童も写真にポインターを合わせ、名前や好きなものなどを英語で紹介したものを録画して見せる活動をした。次に、児童は、ボストンの小学生に紹介したい日本の食べ物や将来の職業などをイラストを描いたりパワーポイントで制作しボストンに送る活動を行った。

これらの活動は、誰に対して紹介するのかという相手意識を強く持つことにつながった。普段の授業で行う英語の自己紹介は、すでにクラスみんなが互いに名前も好きなことも知っているの、6年生にとっては英語で自己紹介する目的が薄れてしまうことがある。そのため、6年生の発達段階では、わかりきっていることを話すことに面倒くささを感じたり、みんなの前で話すことに恥ずかしさを感じたりする児童が多くなる。しかし、今回の自己紹介を録画する活動では、児童は意欲的に取り組むことができた。コンピュータのマイクに向かって話すのであるが、ボストンの6年生へという相手意識があるため、楽しんで録画することができた。

3.4 アメリカの小学生とライブで会話

ボストンの小学生と日本の小学生が授業時間にライブで話すことは時差の関係で無理であった。しかし、交流を進めていくうちに、あるプロジェクトによりライブで話すことが実現した。ボストンの小学生が自宅からインターネットでバーチャルクラスルームにログインして参加し、日本の小学生はコンピュータ教室で参加するというプロジェクトである。これはボストンの教師が児童に、ライブで日本の小学生と話してみないかと声をかけ、参加したいというボストンの6年女子児童がいたことにより実

現した。彼女の祖母が日本人で日本に興味を持っていたこと、保護者もこの活動に興味を示したことがこのプロジェクトのスタートにつながったのである。

3.4.1 初めての会話(1回目)(10月26日)

事前に、会話の内容を、名前、年齢、学年、好きなことなどの話題で行うことを、打ち合わせした。

日本は午前8:30、ボストンは午後7:30。日本からは「アメリカの小学生と英語で話してみたい」という意欲的な児童が参加した。バーチャルクラスルームというシステムのWeb上にボストンの教師と小学生、日本の小学生と筆者がログインした。ボストンの6年生女子児童には4年生(9歳)の妹がいて、自宅から姉妹で参加していた。ボストンの教師はチャットで会話が進むように文字を打ち支援した。内容は、名前、年齢、学年、好きなスポーツ、ペット、兄弟、時刻などの話題となった。実際は、英語の質問の一部しか理解できなかった、筆者が質問の意味を教えたり、英語の答え方を教えたりしながらの会話がほとんどであった。自分から会話をつなげていくということは実際には難しく、英語の質問に答えるのが精一杯であった。しかし、こちらからも質問しようと児童に促し、英語の質問の例を与えると、積極的に質問することができた。また、聞き取れないとき、意味がわからないときの聞き返しのrepeat please / pardonなどは、まだ教えていなかったが、実際に何度も使う中で聞き返すときの言葉として覚えることができた。

3.4.2 小グループでの会話(2回目)(10月30日)

前回の交流後、ボストンの小学生は「また日本の小学生と話したい」と意欲的であったので、2回目の交流を行った。2回目の会話の内容は、自己紹介、年齢、学年、好きなことの他に、「何時に起きるか」などの時刻を答える質問も加えた話題にするように打ち合わせをした。今回は、前回参加した姉妹の妹だけが1人で参加した。日本では5人がコンピュータの前に待機し、1人ずつ会話をした。交流の前に自分の名前の紹介や年齢の答え方を練習していたので、これらの質問にはすぐに答えることができた。さらに、絵を描くと児童は理解しやすいことがわかった。また、児童はfavorite sportsの言葉を

よく聞き取って答えることができた。これまでに覚えてきた favorite の英語表現が身につけていて、よく理解できていたと思われる。しかし、You draw very well. / What time do you get up for school? など聞き慣れない質問は理解できず、Pardon? と聞き返すことが多かった。それでも、時計の絵を描いたりすることで、質問の意味を推測し、何を聞いているのかは理解することができた。また、同じような質問が繰り返されるので、初めはわからなかった質問もグループのメンバーが教えたり、相談したりしながら、次第に質問の意味を推測して答えるようになっていった。

3.4.3 時刻の話題での会話(3回目)(11月1日)

姉妹の交流の様子はボストンの友達にも紹介され、新たに友達の女子児童が加わり、3回目の交流は3人のボストンの小学生と会話することができた。クラス全員に英語で話す体験をさせるために、5人1グループで5分間の交流活動を行った。交流内容は、名前、年齢、学年、好きなもの、スポーツ、動物、色、ペット、兄弟、食べ物などのこれまでと同じ話題に時刻を尋ねる表現を取り入れることにし、朝起きる時刻や寝る時刻などの質問と答え方に慣れることをねらいとした。事前に時刻を尋ねる英語表現について担任が教えてから交流活動に臨んだ。時刻を尋ねるネイティブスピーカーの英語は速くて聞き取りにくい。What time の英語を聞き取り、morning / go to bed などの言葉や時計のイラストなどをヒントにして、児童は時刻の質問に慣れていった。児童は時刻の質問をされていることは理解したが、時刻の数字の答え方がすぐに言えなかった。教師が数字の読み方のヒントを教えたりしながら英語で答えることがほとんどであった。事前の学習で質問の意味も理解できるようになったが、すぐに英語で答えるという反応には、まだ慣れていないようであった。しかし、この活動は、英語の質問を理解して答えるというよりも、英語で会話を交わす楽しさを味わうことが一番の収穫となった。クラス全員が、ボストンの小学生と英語で話すことができた。外国の子供と会話ができたという体験は児童にとって非常に印象が強く、この活動に面白さを感じて、次の活動に向けて大変意欲的となった。

3.4.4 話題を増やしての会話(4回目)(11月13日)

この日の交流には、ボストンから5人の女子児童が自宅から参加した。これまでの話題に加えて、今の時刻、日付、曜日、天気、将来になりたい職業の表現を新しく取り入れることにした。イラストを描いてこれらの話題を中心に会話を進めていった。また、質問と答えだけの会話ではなく、英語の言い方を相手から教えてもらうようにする場面も多くした。天気の絵を描き、それをネイティブスピーカーの発音で言ってもらい、すぐにまねて英語で話す活動をした。将来になりたい職業の英語表現は覚えにくいので、絵を書いたり、何度も繰り返して発音してもらいながら英語の言い方をまねて覚えた。英語の発音を教わる活動では、日本の小学生がまねをして英語を言った後、Good! / Good job! とボストンの小学生が言ってくれることを楽しんでいった。将来になりたい職業を伝え合う活動には、子供同士の考えを知ることができ、交流の面白さを感じていた。また、日本のあいさつも教えてほしいという要望もあり、「おはよう」、「ありがとう」、「さよなら」を児童の声で教えた。

絵を描くことで会話の内容が伝わりやすくなるため、英語の語彙が乏しい小学生にとって、絵はとても大切なコミュニケーションの手段となっていた。

3.4.5 イラストボードでの会話(5回目)(11月16日)

絵を描いて会話をすることは効果的だが、絵を描くための時間がかかり、会話が途切れることが多かった。そこで、ボランティアで参加している児童との貴重な時間を効率よく使うために、イラストを事前に準備して会話をした。ボストンからは2人の女子児童が参加した。イラストボードは、天気と楽器を準備した。天気は、晴れ、雨、くもり、雪、嵐、霧、雷のイラストを、楽器は、児童が数日前、学習発表会の合奏で使った楽器のイラストをそれぞれ1つのイラストボードにまとめて提示した。名前の紹介や年齢、兄弟やペット、時刻、好きなものの会話をした後、天気や楽器を尋ねる質問をした。天気のイラストは、線で囲んだり、ポインターで示したりしながら It's sunny. など英語で答えた。楽器のイラストも線で囲んだり、ポインターで示しながら I play KENBANHAHMONIKA. など英語で答え

た。実際は What instrument did you play in the concert? という英語の質問を児童は聞き取れなかった。しかし、楽器のイラストが目の前にあることで質問を推測し、学習発表会で演奏を担当した楽器を線で囲んで示すことで、相手にどの楽器かを伝えることができた。

3.4.6 イラストボードでの会話(6回目)(11月27日)

前回の活動で、イラストボードがあると会話をスムーズに進めることができたので、今回の活動では、話題ごとにイラストボードを作成して提示した。イラストボードは、カレンダー、季節、クリスマスプレゼント(去年と今年)、職業を準備した。クリスマスプレゼントのイラストボードは、2006年と2007年のスペースを作り、去年のプレゼントは何をもらったか、今年は何が欲しいか、という話題で This year / Last year の英語表現に慣れるようにした。実際は What did you get for Christmas last year? の質問を児童は聞き取れないのだが、目の前のイラストをヒントにクリスマスプレゼントの質問だということを理解していた。カレンダーボードは、上半分に1月から12月までの表示、下半分は1から31までの数字を並べたイラストで、誕生日にポインターを合わせたり、線で囲んだりして使った。季節ボードは、春、夏、秋、冬の4つのスペースに区切ったイラストで、誕生日の季節や冬休みの日付を書き込んだりして使った。カレンダーボードでは、When を使った英語の質問に多く触れさせることができた。卒業式の graduation ceremony や冬休み期間を尋ねる How long / winter vacation の英語は理解できなかった。しかし、イラストを見ながらグループの友達が何度も同じような英語の質問で会話する様子を見ているうちに、英語の質問を理解する児童も多くなった。英語のイラストを複数用意したことで、会話のテンポもよくなり、より多くの話題で会話を続けることができた。

3.4.7 他の学級が参加しての会話(7回目)(11月29日)

これまで6年1組の児童との交流がほとんどであったが、6年2組でも交流活動を実施した。会話には、これまで使ってきたイラストボードを活用し

た。一部の2組の児童は、交流活動に参加していたが、ほとんどの児童が初めてボストンの児童と話す体験をした。ボストンから女子児童1名が参加して交流した。2組の児童は、英語の質問を理解できないことが多く、筆者が質問の意味を教えたり、英語の答え方を教えたりしながらの活動となった。しかし、イラストボードを提示しての会話は、ポインターを合わせたり、線で囲んだりできるので英語に慣れていない児童でも会話をスムーズに進めることができた。カレンダーボードでは、英語と日本語を混ぜて話すこともあった。それは「My birthday is 12月1日」と日本語で誕生日を言いながら、カレンダーボードの日付を線で囲んだり、ポインターで合わせたりする会話である。イラストで指示ができるので、ボストンの児童も理解することができた。さらに、ポインターを合わせた日付を英語で何と言うのか What's this in English? と尋ね、ネイティブスピーカーの英語の言い方も教わりながら会話することができた。

交流を続けてきた1組の児童と初めて交流活動に参加した2組の児童を比べると、ヒアリング力で大きな差が出ていた。これまで同じような英語の質問に繰り返し答えてきた1組児童は、テンポよく英語で答えていたが、2組児童は英語を聞き取れないことが多く、聞き取れたとしても英語の答え方がすぐに出てこなかった。

3.4.8 教室写真を準備しての会話(8回目)(12月7日)

2組の児童はこの交流活動が2回目となる。前の交流で扱った英語表現を事前に練習してから活動に参加した。ボストンからは女子児童1名が参加して交流した。年齢や兄弟などの質問にはすぐに答えることができた。この他に、寝る時刻、天気、冬休みの日付、好きなものなどの話題で自由に会話をした。話題ごとにイラストボードを提示したことで、わかりやすくテンポよく会話ができた。さらに、日本の学校の教室を写した写真を提示し、Where is this room? の表現を新しく加えた。これは、次の2点から考えた活動である。1つは、新しい英語表現として Where を扱うため、もう1つは、ボストンからボランティアで参加している児童にとって、交流活動の中に日本を知る楽しみがあるようにするためである。いろいろな教室の写真を提示した交流活動

後、ボストン児童の感想を聞いた。児童にとって初めて日本の学校の教室を見ることができてとても面白かったという感想であった。その後、ボストンの学校の教室の写真をメールで送ってくれた。机や椅子の違い、黒板のカラフルな掲示物などに日本の児童も興味を持っていた。

3.4.9 教室写真を準備しての会話(9回目) (12月8日)

教室写真の交流活動を生かして、教室写真の種類を増やして1組児童が会話をした。Where is の表現を扱おうと考えていたが、教室の写真を提示するとボストンの児童の質問は What is this room? になっていた。写真を提示しながら、いろいろな教室の英語の言い方を覚えることができた。ボストンの児童も靴箱やプールに興味を持っていた。交流しているボストンの学校には、靴箱もプールもない。これらの活動は、英語の語彙を増やす活動として効果的であった。同時にボストンの児童にとっても、靴箱やプールなど異なる文化を知る活動となっていた。

3.4.10 朝食・夕食の話題での会話(10回目) (12月13日)

曜日の言い方に慣れていない児童が多かったので、曜日の英語に触れさせながら、食事についての話題で交流活動をした。この活動に参加して、日本の児童とボストンの児童の両方に学ぶことができるようにイラストボードを考えた。上のスペースには1週間の曜日のイラストと、朝と夜のイラスト、下のスペースには日本の食事の写真を並べたイラストボードを準備した。日本の児童は、「曜日の英語」の他に中学1年の教科書で扱う What do you have for breakfast [dinner]? の表現に慣れ親しむことができる。ボストンの児童は、日本で一般的に食べられている朝食や夕食のメニューを写真で知ることができる。この活動では、朝、何を食べたかを自分で考え答えるところで、相手の質問をよく聞くようになり、答え方も繰り返すのでよく覚えることができた。この食べ物のイラストボードは、会話がとてもよく進むコミュニケーションに効果的なボードとなった。活動後、ボストンの児童は、日本の知らない食べ物が変わってとても面白かったと話していた。

3.4.11 フリートークでの会話(11回目) (12月17日)

活動を重ねるごとに、教師が補助する場面が少なくなってきたので、自分たちだけで英語を聞いて、英語で答える活動に挑戦させた。ただしイラストボードを活用して行った。これには6年2組の児童が参加した。交流のスタートは1組よりも遅かったが、英語の質問を聞き取れるようになってきた。年齢、学年、天気、兄弟姉妹、ペット、朝起きた時刻、寝る時刻、好きなもの、朝食・夕食で食べたもの、誕生日などは、今までよりも補助をしなくても答えられる部分が多くなった。イラストボードを提示しながらの会話なので、目の前のイラストから推測し、英語の質問の意味を理解しやすかったようだ。活動後の感想では、教師の補助なしでできたことを喜び、自信につながっていることがわかった。

3.4.12 フリートークでの会話(12回目) (12月18日)

これまでに使ってきたイラストボードを提示してのフリートークを、交流回数が多い1組で行った。教師が通訳せずに自分たちだけで質問を聞き取って、英語で答えることに挑戦させた。会話の主な内容は、年齢、学年、天気、兄弟姉妹、ペット、朝起きた時刻、寝る時刻、好きなもの、朝食・夕食で食べたもの、誕生日などであったが、ほとんど教師の補助なしで答えていた。また、自分たちからも積極的に質問をしていた。活動後の感想では、英語の質問がだいたいわかったことや自分たちだけで答えられたことをとても喜んでいて、しかし、同じ質問も多いため、少し飽きてきたという感想を述べている児童も数名いた。

3.4.13 名前を呼んでの会話(13回目)(1月18日)

前回の交流活動で、ボストンの児童が日本の児童の名前を呼んでから質問をする場面があった。名前を呼ばれて質問されると、本人が驚き、それに答えようとみんなで教え合いながら英語で答えていた。この交流は児童を積極的にさせた。そこで今回の交流では、名前のイラストボードを作成することにした。名前ボックスに名前を書いて提示し、名前を呼んでから質問をする形式で会話を進めていった。このスタイルは、交流活動に少し飽きてきた児童も、

名前を呼び合うことで1対1の会話になり、積極的になった。これまで自己紹介で自分の名前を紹介する活動をしてきたが、相手に名前を伝える大切さ、相手の名前を覚える大切さにこの活動を通して気付くことができた。

3.4.14 名前を呼んで自分たちから質問をするの会話(14回目)(1月30日)

前回の名前を呼んでの会話は、誰が呼ばれるかの期待感があり、どんな質問をされるのかの緊張感もあるので面白く、児童にとっても好印象だった。そこで、今回の交流では、自分たちから相手の名前を呼んで質問をすることにも挑戦させた。これまでの天気や時刻、年齢などの質問は何度も繰り返してきたので少し飽きてきた児童もいた。しかし、互いに名前を呼び合って質問する活動になると、天気や時刻などの日常的な質問が、1対1の会話となり、緊張した中で答えていて、とても新鮮な会話となっていた。そして、答えた内容に対して、さらに関連するような質問が次に来るだろうと予想しながら会話をしたり、自分から質問をしたりと会話を楽しむこともできるようになってきた。

4 実際の会話

4.1 実際の会話: 1回目(10月26日)

※ほとんどは教師の補助での会話

(Japan) Hi Jackson School.
(Japan) My name is (児童の名前).
(Japan) What is your name please?
(Boston) My name is Claire. My name is Ariane.
(Japan) Your name is Claire.
(Boston) Hi! (はい)
(Japan) Your name is Claire.
(Boston) Yes, my name is Claire.
(Boston) How old are you?
(Japan) I'm 11 years old.
(Boston) I am 11 years old too.
(Boston) I am JUICHI. (11)
(Japan) What grade are you in?
(Boston) I am in the 6th grade.
(Boston) What grade are you in?
(Japan) I'm a 6th grader.

ホワイトボードに動物を書き名前を言う活動に入る。

(Japan) What's this?
(Boston) A snake.
(Japan) ピンポーン。
(Japan) I guess a cat.
(Japan) Is this a cat?
(Boston) Yes, this is a cat.
(Japan) It's great!
(Boston) Thank you.
(Japan) I guess a dog.
(Boston) Your guess is right. It is a dog.
(Boston) I guess a snail.
(Japan) Repeat please.
(Boston) It is a snail.
(Japan) Snail?
(Boston) Yes, snail.
Bye!
(互いに名前や年齢の紹介)
(Boston) Do you like baseball? ... Daisuke Matsuzaka?
(Japan) I like badminton. I like baseball too.
(Boston) Do you know Daisuke Matsuzaka?
(Japan) Yes.
(Boston) He is my favorite baseball player.
(Boston) What sports do you like?
(Japan) Do you know Matsui?
(Boston) Can you repeat please?
(Japan) Do you know Matsui? NY Yankees.
(Boston) I don't like Yankees. I like Red Sox.
(Boston) Do you play sports?
(Japan) I play badminton.
(Boston) That's great! I play baseball.
Bye!
(互いに名前や年齢の紹介)
(Japan) I have a brother.
(Boston) How old is your brother?
(Japan) He is 9.
(Boston) Like me.
(Boston) Do you like your school?
(Japan) Repeat please.
(Boston) Do you like your school?
(Japan) So so.
(Boston) I love my school.

(Boston) What is your favorite food?
 (Japan) I like strawberry.
 (Boston) I like cherry.
 (Japan) Me too.
 (Boston) Do you like animals?
 (Japan) I like apples too.
 (Japan) What time is it now?
 (Boston) It is 8 o'clock.
 (Japan) 8 o'clock?
 (Boston) Yes! What time is it there?
 (Japan) Pardon?
 (Boston) What time is for you?
 (Japan) It's 9 o'clock. Your picture is great!
 (以下省略)
 Time up
 (Japan) Thank you good bye!
 (Boston) SAYONARA!

4.2 実際の会話：2回目（10月30日）

※ほとんどは教師の補助で会話

(互いに名前や年齢の紹介)

主な質問

- What is your favorite food? ... rice.
- Do you have any brothers or sisters?
- Do you have a pet?
- What kind of pet? I have a dog.
- What is your favorite sport?

(Boston) I like baseball and soccer.

(Japan) I like to draw pictures.

(Boston) You draw very well.

(Japan) Pardon?

(Boston) You draw very well.

(Japan) Pardon?

(Boston) I like your picture. Your cat is very good!

(Japan) Thank you!

(Boston) You are welcome.

Good bye!

(Japan) Hello! Jackson School.

(Boston) My name is Ariane. What is your name?

(Japan) My name is (児童の名前).

(Boston) What time do you get up for school?

(Japan) Pardon?

(Boston) What time do you get up for school?

(Japan) Pardon?

(Boston) What time do you get up for school?

(Japan) 6:30

(Boston) I wake up at 7 o'clock.

(Boston) What time do you go to bed?

(Japan) 10 o'clock. How about you?

(Boston) I go to bed at 9 o'clock.

(Boston) Is it brother or sister?

(Japan) Sister. I have an old sister.

Bye!

(互いに名前や年齢の紹介)

(Boston) What time does school start?

(Japan) 8:30

(Boston) Our school starts at 8:30 too.

(Boston) What time do you go to bed at night?

(Japan) 11 o'clock.

(Boston) That's great!

Good bye!

4.3 実際の会話：3回目（11月1日）

(互いに名前や年齢の紹介)

主な質問

- What is your favorite food? ... rice.
- Do you have any brothers or sisters?
- Do you have any pets?
- What kind of pet? I have a dog.
- What is your favorite sport?
- What time do you get up in the morning?
- What time do you go to bed?
- What time do you wake up in the morning?

野球好きの男子との会話

(Boston) Hi! My name is Claire.

(Japan) Hi! Jackson School.

(Boston) What is your name?

(Japan) My name is ... My name is ...

(Japan) I like baseball.

(Boston) I love baseball too. Daisuke is my favorite player.

(Japan) I like Daisuke Matsuzaka.

(Boston) Do you play baseball after school? I do.

(Japan) Yes.

(Boston) Which is the best baseball team in Japan?

(Japan) Pardon?

(Boston) Which is the best baseball team in Japan?

(Japan) Slowly please.

(Boston) What team do you like?
 (Japan) I like Red Sox.
 (Boston) What is your favorite food? I like pizza.
 (Japan) I like Sushi. I like meat. I like vegetables.
 (Boston) What time do you wake up in the morning? I wake up at 8:30.
 (Japan) 7:00. 6:30. 7:00.
 (Boston) What time do you go to bed? I go to bed at 9 o'clock.
 (Japan) 10:00, 9:00, 9:30.
 (Japan) What grade are you in?
 (Boston) I am in the 6th grade.
 (Japan) I'm in the 6th grade too.
 (Japan) What sports do you like?
 (Boston) I like baseball and soccer.
 (Boston) What sports do you like?
 (Japan) Pardon?
 (Boston) What sports do you like? I like baseball and soccer.
 (Japan) Only baseball.
 (省略)
 (Boston) What is your favorite subject at school? I like math.
 (Japan) I like PE. I like PE. I like PE.
 (Japan) What Red Sox player do you like best?
 (Boston) I like Jacoby Ellsbury. What player do you like in the Red Sox?
 (Japan) Daisuke Matsuzaka, Daisuke Matsuzaka and Okajima. Ramirez.
 (Boston) What team do you like? I like Red Sox.
 (Japan) I like the Red Sox.
 (Boston) What do you do after school? I dance.
 (Japan) Pardon?
 (Boston) What do you do after school? I dance.
 (Japan) I play baseball. I play Karate.
 (Boston) Do you play music? I play the piano.
 (Japan) No. I play Taiko. I play Wadaiko.
 (Japan) Wadaiko is drum.
 (Boston) Taiko drum? Taiko drum is popular in Hawaii.
 (Japan) What's?
 (Boston) Taiko drum? Taiko drum is popular in Hawaii.
 (以下省略)

4.4 実際の会話：4 回目 (11 月 13 日)

(互いに名前や年齢の紹介, 時刻の確認)
 (Boston) What instrument did you play in the concert?
 (Japan) Pardon?
 (Boston) What did you play in the concert?
 (Japan) I play ...
 (Boston) I had play recorder too.
 (Japan) What's this? (リコーダーの絵にポインターを合わせて)
 (Boston) What do we call this?
 (Japan) This is recorder.
 (木琴の絵にポインターを合わせる)
 (Boston) This is xylophone.
 (Japan) What's this? (木琴にポインターを合わせて)
 (Boston) This is xylophone.
 (Japan) Xylophone.
 (Boston) This is xylophone.
 (Japan) What is the date?
 (Boston) It is November 13th.
 (Boston) What date is it there?
 (Japan) November 14th.
 (Boston) What day of the week is it there? Here it is Tuesday.
 (Japan) It's Wednesday. Wednesday. Wednesday (5 人が順に言う)
 (ボストンの児童はチャットで Wednesday???? と書いて, 不思議に思っている)
 (Japan) How is the weather?
 (Boston) It is rainy.
 (雪だるまの絵を描いてポインターを合わせる)
 (Boston) It is snowy.
 (Japan) Picture!
 (Boston) It is snowy.
 (Japan) Snowy! Snowy! Snowy! Snowy! Snowy! (まねをして 5 人が順に言う)
 (Boston) Good!
 (雲の絵を描いてポインターを合わせる)
 (Japan) How is the weather?
 (Boston) It is cloudy.
 (Japan) Cloudy! Cloudy! Cloudy! Cloudy! Cloudy! (まねをして 5 人が順に言う)
 (Boston) Good Job!

(サッカーボールの絵を描く)

(Japan) What do you want to be ...

(Boston) A soccer player.

(Japan) I want to be a soccer player.

(Japan) How about you?

(Boston) I want to be a veterinarian.

(Japan) Pardon? Repeat please?

(Boston) I want to be a veterinarian.

(Japan) What do you want to be ...

(Boston) Veterinarian is an animal doctor.

(それぞれ四角い囲みを書いて名前と将来の職業の絵を描く)

(絵にポインターを合わせる)

(Japan) My name is ... I want to be a cameraman.

(Boston) 先生: What do you want to be when you grow up? Do you want to be a photographer?

(Japan) Photographer.

(Boston) 先生: Nora, what do you want to be when you grow up?

(Boston) I want to be a photographer.

(Japan) I want to be a photographer.

(Boston) 先生: Claire, what do you want to be when you grow up?

(Boston) I want to be an artist when I grow up.

(Boston) 先生: Sarah, what do you want to be when you grow up?

(Boston) I want to be a doctor.

(Boston) 先生: Ariane, what do you want to be when you grow up?

(Boston) I want to be a scuba diver.

(Boston) 先生: (日本児童の名前), what do you want to be when you grow up?

(Japan) Fashion designer.

(薬剤師の言い方を絵をヒントに尋ねる)

(Boston) Doctor?

(Japan) Not a doctor.

(Boston) Nurse?

(Japan) Not a nurse.

(Boston) Scientist?

(Japan) No a scientist.

(薬の絵を描く)

(Boston) Pharmacist!

(Boston) (日本児童の名前), want to be a pharmacist.

(Boston) (日本児童の名前), want to be a pharmacist.

(Japan) Pharmacist.

(薬剤師について児童本人が写真やイラストで前にまとめた画像をアップする)

(Boston) Good job!

(Boston) I like a picture (日本児童の名前).

(Boston) I want to be a pharmacist in the future.

(Japan) I want to be a pharmacist in the future.

(Boston) Good job!

(Japan) Thank you!

(Boston) You are welcome.

(最後に、日本語のあいさつを教える)

(Japan) Good morning! = OHAYO! OHAYO! OHAYO! ... (順に言う)

(Boston) OHAYO! OHAYO! OHAYO! ... (順にまねをして言う)

(Japan) Thank you! = ARIGATO! ARIGATO! ARIGATO! ... (順に言う)

(Boston) ARIGATO! ARIGATO! ARIGATO! ... (順にまねをして言う)

(Boston) SAYONARA! SAYONARA! SAYONARA!...

(ボストンの児童たちから言う)

(Japan) さよなら! さよなら! さよなら! (日本の発音で言う)

4.5 実際の会話: 5 回目 (11月16日)

(名前や年齢の紹介, 天気, 時刻, ベットなどの質問)

(Boston) What subject do you like?

(Japan) I like science. I like PE ...

(Boston) I like music.

(Boston) What day is it?

(Japan) Repeat please!

(Boston) What day of the week is it?

(Japan) It's Friday. (5人全員で)

(Boston) It is Thursday here.

(Boston) What instrument did you play in the concert?

(楽器のイラストボードにポインターを合わせて)

(Japan) I play recorder. I play MOKKIN. I play KENBANHAHMONIKA.

(Boston) What time do you get up in the morning to go to school?

(Japan) Question! What's this in English? (木琴に

ポインターを合わせて)

(Boston) I'm not very sure about that ... I'm not.

Xylophone?

(Boston) Maybe bells.

(Japan) What's this in English? (鍵盤ハーモニカにポインターを合わせて)

(Boston) I'm not very sure.

(Boston) I think it is harmonica.

(Boston) Is it mouth harmonica?

(Boston) Yes! Mouth harmonica.

(Japan) Mouth harmonica. Okay! Thank you!

(以下省略)

4.6 実際の会話：6 回目 (11 月 27 日)

(互いに名前や年齢の紹介, 時刻の確認)

(クリスマスプレゼントのイラストボード)

(Boston) What did you get for Christmas last year?

(Japan) Pardon?

(Boston) What did you get for Christmas last year?

(Japan) A game.

(Boston) What did you get for Christmas last year?

(Japan) A computer game.

(Boston) What do you want for Christmas this year?

(Japan) I want PC Game.

(Japan) Hello! Jackson School! My name is (児童の名前).

(Boston) My name is Sarah.

(Japan) My Christmas present is soccer ball.

(Boston) My Christmas present is game.

(Boston) What do you want for Christmas this year?

(Japan) Wii Fit.

(Boston) What do you eat for Christmas?

(Japan) I eat Christmas cake.

(Boston) I eat Christmas cake too.

(カレンダーボード)

(Boston) When is your birthday?

(Japan) Pardon?

(Boston) When is your birthday?

(Japan) My birthday is July thirty one.

(カレンダーボードにポインターを合わせる)

(Boston) My birthday is January third.

(Japan) 先生 : How do you say this day? (31 日 に

ポインターを合わせる)

(Japan) Thirty one?

(Boston) That's right!

(Boston) 先生 : Sometimes, we say July thirty-first.

(Japan) Thirty-first.

(Boston) Good job!

(Boston) What season is it in your birthday?

(Japan) My birthday is in the summer.

(Boston) My birthday is in the winter.

(Boston) When is your graduation ceremony?

(Japan) Spring.

(Boston) My graduation ceremony is in spring too.

(Boston) When is your winter vacation?

(Japan) December twenty-second.

(Boston) How long is your winter vacation?

(Japan) 2 weeks.

(Boston) My winter vacation is also 2 weeks.

4.7 実際の会話：7 回目 (11 月 29 日)

※英語交流に慣れていないクラスの会話 1 回目

(互いに名前や年齢の紹介, 兄弟姉妹の質問)

(Boston) When is your birthday?

(Japan) My birthday is July second.

(Boston) My birthday is May 18th.

(誕生日の言い方がわからない児童のために, 英語の言い方を教わる)

(Japan) My birthday is 12月22日. (日本語で)

(Boston) My birthday is December twenty-second.

(Japan) My birthday is December twenty-second.

(以下省略)

4.8 実際の会話：8 回目 (12 月 7 日)

※英語交流に慣れていないクラスの会話 2 回目

(名前, 年齢, 兄弟, 好きな物の話題で会話)

(教室の写真を提示して)

(Boston) Where is this room?

(Japan) It's 保健室. (日本語で)

(Boston) Repeat please!

(Japan) 先生 : HOKENSHITU is maybe nurse's room?

(Japan) It's nurse room.

(Boston) Nurse's room?

(Japan) Nurse's room.

(Boston) Good! Nurse's room.

(他の写真)

(Boston) Where is this room?

(Japan) It's トイレ. (日本語で)

(Boston) Bathroom?

(Japan) Yes, bathroom.

(他の教室を提示していく)

(以下省略)

4.9 実際の会話：9回目(12月8日)

(名前, 年齢, 兄弟, 好きな物の話題で会話)

(教室の写真を提示して)

(Boston) Is this office room? What is this room?

(Japan) 先生: How do you say this room in English?

(Boston) Teacher's room?

(Japan) Teacher's room.

(Boston) Good!

(次の教室写真)

(Boston) What is this room?

(Boston) Science room.

(Japan) Science room.

(Boston) Good!

(Boston) What is this room?

(Japan) It's 下駄箱.

(Boston) Entrance.

(Japan) It is a shoebox.

(Boston) Shoebox.

(Boston) Good!

(家庭科室, 図工室, 保健室, 体育館, 理科室, 校長室, プールなどの写真で会話)

4.10 実際の会話：10回目(12月13日)

(ボードの朝のイラストを線で囲む)

(Boston) What did you have for breakfast?

(パンの写真にポインターを合わせる)

(Boston) You have bread for breakfast.

(Japan) I have パン.

(Boston) Bread.

(Japan) I have bread.

(Boston) Bread. Good!

(お好み焼きの写真にポインターを合わせて)

(Boston) What is this?

(Japan) This is OKONOMIYAKI.

(Boston) OKONOMIYAKI.

(Japan) Good!

(焼き魚の写真にポインターを合わせて)

(Japan) I have rice and fish.

(Boston) Rice and grilled fish.

(Boston) Rice and grilled fish.

(Japan) I have rice and grilled fish.

(Boston) Good!

(他にラーメンや目玉焼き, カレーライスについての会話を楽しんだ)

(以下省略)

4.11 実際の会話：11回目(12月17日)

※教師の補助は少しで, 児童だけでの会話が多い
ボストンから4人の児童が参加。

(互いに名前の紹介)

(天気のイラストボードを提示)

(Japan) How is the weather? It's sunny in Japan.

(Boston) It is snowy in Boston.

(Boston) What are your favorite sports?

(Japan) I like soccer. I like baseball. I like soccer.

(Boston) My favorite sports is soccer.

(Japan) My favorite is soccer too.

(スポーツの絵を描く)

(Boston) My favorite sport is baseball.

(Boston) My favorite sport is skiing.

(Japan) My favorite is baseball too.

(自分の名前にポインターを合わせて)

(Japan) I like PE. I like PE. I like math.

(Boston) I like math. I like math too. I like science.

(Japan) I like science too.

(教科の文字や絵を描く)

(Boston) I like math.

(Boston) What do you want to be in the future?

(Japan) I want to be a major leaguer.

(Boston) When I grow up I want to be a doctor.

(Boston) I want to be a newscaster.

(Japan) I want to be a soccer player.

(Boston) I want to be a soccer player too.

(Japan) I want to be a designer.

(Japan) I want to be an illustrator.

(Japan) I want to be a piano teacher.

(Boston) What did you eat for breakfast today?

(Japan) Repeat please!
 (Boston) What did you eat for breakfast today? I had toast.
 (Japan) I had 目玉焼き.
 (Boston) I had oatmeal.
 (Japan) I had toast.
 (Boston) What did you have for dinner today?
 (Japan) I had もち.
 (Boston) I had Saimin. (ラーメンの写真にポインターを合わせて)
 (Boston) I had chicken and rice for dinner.
 (Boston) I had hamburger for dinner.
 (Boston) I had pasta for dinner.
 (Japan) I had BBQ meat.
 (Japan) I had Sushi.
 (Boston) What do you want for Christmas this year?
 (Japan) I want some baseball goods.
 (Japan) I want some soccer goods.
 (Japan) I want some piano textbook.
 (Japan) I want some book.
 (Boston) I want some camera for Christmas this year.
 (Japan) Thank you! Good bye!
 (Boston) Good bye! SAYONARA! Thank you!
 (次のグループへ 以下省略)

4.12 実際の会話：12回目(12月18日)

※教師の補助なしで、フリートークに挑戦
 ボストンから1人の児童が参加。

(互いに名前の紹介)
 (Boston) How old are you?
 (Japan) I'm 12 years old. I'm 11 years old. (順に答える)
 (Boston) Do you have any brothers? I have 2.
 (Japan) I have 1 brothers.
 (Boston) Do you have any sisters?
 (Japan) I have 1 sister.
 (虹のイラストボードを提示)
 (Boston) How many colors are there in this rainbow?
 (Japan) Seven.
 (Japan) How about you?

(Boston) There are 6 colors in U.S.A. rainbow.
 (Boston) When is your birthday?
 (Japan) Repeat please!
 (カレンダーイラストボードを提示)
 (Boston) When is your birthday?
 (Japan) My birthday is August 26.
 (Boston) August 26th.
 (Japan) My birthday is April 11.
 (Boston) April 11th.
 (Japan) My birthday is April 21.
 (Boston) April 21st.
 (Boston) (児童の名前)'s birthday is April 11th.
 (Boston) (児童の名前)'s birthday is August 26th.
 (Boston) (児童の名前)'s birthday is April 21st.
 (Japan) My birthday is 12月5日. (日本語で)
 (Boston) December fifth.
 (Japan) December fifth.
 (Boston) Very good!
 (Boston) What is your favorite sports?
 (Japan) I like badminton. I like tennis. I like volleyball.
 (Boston) What did you have for breakfast?
 (Japan) Repeat please!
 (夕食・朝食のイラストボードを提示)
 (Boston) What did you have for breakfast?
 (写真にポインターを合わせて)
 (Japan) I had rice and Miso soup and 焼き魚. (日本語で)
 (Boston) Rice, Miso soup and grilled fish.
 (Japan) I had cornflakes.
 (Japan) Cornflake is ... maybe cereal?
 (Boston) Cereal.
 (Japan) I had cereal.
 (Boston) Good!
 (次のグループへ 以下省略)

4.13 実際の会話：13回目(1月18日)

※相手の名前を呼び、対象を決めての会話

(Boston) (児童の名前), do you have any brothers?
 (Japan) I have 1 brother.
 (Boston) (児童の名前), do you have any sisters?
 (Japan) No.
 (Boston) (児童の名前), do you have any brothers?

(Japan) Yes, 1 brother.
 (Boston) I have 1 brother too.
 (Boston) (児童の名前), do you have any sisters?
 (Japan) Yes, I have 1 sister.
 (Boston) (児童の名前), what is your favorite subject?
 (Japan) I like PE.
 (Boston) (児童の名前), what is your favorite subject?
 (Japan) I like music.
 (Boston) (児童の名前), what is your favorite animal?
 (Japan) I like owls.
 (Boston) I like owls too.
 (以下省略)

4.14 実際の会話：14回目（1月30日）

※相手の名前を呼び、対象を決めての会話
 ボストンから3人の児童が参加。

(天気、時刻を互いに尋ねる)
 (Boston) (児童の名前), what do you do after school?
 (Japan) Repeat please!
 (Boston) (児童の名前), what do you do after school?
 (Boston) I like to take dance class.
 (Japan) I like 空手.
 (Boston) (児童の名前), what do you do after lunch?
 (Japan) I play なわとび.
 (Boston) I go to recess after lunch.
 (Boston) (児童の名前), what is your favorite subject in school?
 (Japan) Repeat please!
 (Boston) (児童の名前), what is your favorite subject in school?
 (Japan) My favorite subject PE.
 (Boston) (児童の名前), what is your favorite sports?
 (Japan) I don't like sports. I like MANGA.
 (Boston) (児童の名前), how old are you? I'm 12 years old.
 (Japan) I'm 12 years old.

(Boston) (児童の名前), do you have any brothers?
 I have 1 brother.
 (Japan) I have 1 brother.
 (Japan) (児童の名前), how old are you?
 (Boston) I'm 11 years old also.
 (Boston) (児童の名前), do you have any sisters? I do not have sisters.
 (Japan) I have no sister.
 (Boston) (児童の名前), what time do you wake up in the morning?
 (Boston) I wake up at 6:45 am.
 (Japan) I wake up 7:30.
 (以下省略)

5 この活動でどのように児童は変化したか

5.1 英語活動の意識調査

外国の小学生と英語を話して交流することで、子供たちにどのような変化があったのかを調査した。

対象：人来田小学校6年1組（29名）と6年2組（28名）

英語活動に対する意識調査を交流活動の前の7月と交流後の2月に行った。

■ 表1：Q1「あなたは英語活動が好きですか」

6年1組（本学級）	7月	2月
とてもそう思う	4人	5人
少しそう思う	9人	12人
あまりそう思わない	12人	9人
全く思わない	4人	3人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	8人	11人
少しそう思う	10人	12人
あまりそう思わない	10人	5人
全く思わない	0人	0人

■ 表2：Q2「あなたは英語を聞いたり話したりすることが楽しいですか」

6年1組（本学級）	7月	2月
とてもそう思う	3人	4人
少しそう思う	10人	14人
あまりそう思わない	11人	8人
全く思わない	5人	3人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	6人	7人
少しそう思う	11人	14人
あまりそう思わない	10人	7人
全く思わない	1人	0人

両学級とも英語活動が好き、英語を話したり聞いたりすることが楽しいという意識が高まってきている。このことで、交流活動が好まれていることがわかる。

■表3：Q3「あなたは将来、英語が役に立つと思いますか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	13人	12人
少しそう思う	12人	12人
あまりそう思わない	4人	3人
全く思わない	0人	2人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	15人	16人
少しそう思う	13人	8人
あまりそう思わない	0人	2人
全く思わない	0人	2人

■表4：Q4「あなたはALT(外国人)から話しかけられても平気ですか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	1人	1人
少しそう思う	4人	3人
あまりそう思わない	12人	17人
全く思わない	12人	8人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	2人	2人
少しそう思う	7人	6人
あまりそう思わない	10人	8人
全く思わない	9人	12人

「英語が役に立つと思う」、「話しかけられても平気」の数値は2月の方が少し下がっている。これは実際に交流してみて、知っている英語には答えることもできるが、わからない英語がまだまだ多いことを感じているため抵抗を感じていると思われる。そ

して、英語が自分にとって役に立つのかどうかを現実的に考えるようになったのではないかと考えられる。

■表5：Q5「あなたはALT(外国人)と話すのが平気ですか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	1人	1人
少しそう思う	3人	10人
あまりそう思わない	14人	9人
全く思わない	11人	9人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	2人	2人
少しそう思う	4人	7人
あまりそう思わない	16人	10人
全く思わない	6人	9人

「話すのが平気」と答えている数値は、2月の方が多い。Q4の、話しかけられることには抵抗があるが、話すのは平気という結果である。これは、ボストンの小学生と会話する活動を続けてきて、英語の会話に慣れてきたことや、同じ会話を続けてきて答え方がわかってきたためと考えられる。

■表6：Q6「あなたはALT(外国人)が言っている英語がだいたいわかりますか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	1人	2人
少しそう思う	10人	16人
あまりそう思わない	12人	10人
全く思わない	6人	1人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	4人	3人
少しそう思う	7人	8人
あまりそう思わない	11人	11人
全く思わない	6人	6人

1組は、だいたいわかるという数値が高いが、2組ではあまり変わっていない。これは、交流回数が多い1組のヒアリング力が向上し、2組と差が出ていると考えられる。

■ 表7: Q7「あなたはもっと英語の言い方を覚えたいと思いますか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	8人	8人
少しそう思う	10人	9人
あまりそう思わない	9人	9人
全く思わない	2人	3人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	15人	18人
少しそう思う	7人	8人
あまりそう思わない	5人	2人
全く思わない	1人	0人

交流回数が多かった1組の数値は、2月になってもあまり変わっていないが、2組の数値は多くなっている。1組は扱った表現が多すぎたため意欲が下がっていると考えられる。交流回数が少ない2組は、扱った英語表現がまだ少なく、さらに覚えたいという意欲が高まっていると考えられる。

■ 表8: Q8「あなたはもっといろいろな外国の人と話してみたいですか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	6人	6人
少しそう思う	7人	6人
あまりそう思わない	8人	10人
全く思わない	8人	7人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	8人	9人
少しそう思う	9人	8人
あまりそう思わない	7人	9人
全く思わない	4人	2人

両学級とも2月になっても数値の変化はあまりない。今回の交流活動で楽しく会話ができて、他の外国の人とさらに積極的に話したいという意欲にはつながっていないことがわかる。

■ 表9: Q9「あなたは大人の外国人よりも外国の子供と話した方が楽しいと思いますか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	10人	11人
少しそう思う	10人	10人
あまりそう思わない	6人	4人
全く思わない	3人	4人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	11人	15人
少しそう思う	13人	12人
あまりそう思わない	4人	1人
全く思わない	0人	0人

6年1組と6年2組では差が出ている。1組は、交流を続けるうちに、何度も同じ質問に答えているので、英語に慣れることができた反面、飽きてくるという反応も出てきたと考えられる。2組は、交流活動の回数が少なく、興味関心がまだ続いていると考えられる。

■ 表10: Q10「あなたは外国のことをもっと知りたいと思いますか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	6人	10人
少しそう思う	13人	9人
あまりそう思わない	7人	6人
全く思わない	3人	4人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	14人	11人
少しそう思う	9人	12人
あまりそう思わない	4人	4人
全く思わない	1人	1人

6年1組の数値は、交流活動を通して外国への関心が高まっていることがわかる。6年2組は、外国への関心は少し低くなったが、興味を持っている児童の数は変わらない。

■ 表 11：Q11「あなたは日本の文化や日本のよさをもっと知りたいですか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	10人	6人
少しそう思う	9人	13人
あまりそう思わない	8人	7人
全く思わない	2人	3人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	10人	12人
少しそう思う	15人	12人
あまりそう思わない	1人	3人
全く思わない	2人	1人

「とてもそう思う」、「少しそう思う」の数値は1組と2組では異なる。全体的にこの交流活動で非常に効果があったとは言にくいですが、日本の文化に興味を持っている数値は高いと言える。

■ 表 12：Q12「あなたは自分のことをたくさん紹介することができますか」

6年1組(本学級)	7月	2月
とてもそう思う	0人	2人
少しそう思う	9人	10人
あまりそう思わない	15人	13人
全く思わない	5人	4人

6年2組	7月	2月
とてもそう思う	1人	7人
少しそう思う	15人	10人
あまりそう思わない	10人	9人
全く思わない	2人	2人

2月の数値が多くなっている。これは、交流活動で自己紹介の会話を繰り返し行ってきたことで、自己紹介に慣れてきたためと考えられる。また、交流活動を通して、自分を紹介するための観点が増えたことも自信につながっていると考えられる。

5.2 児童英検のテスト

目的：ボストンの児童との会話を通して、児童のヒアリング力がどの程度身についているかを調査するために児童英検を行った。

方法：「はじめての児童英検」（アルク, 2007）の問

題を参考に問題を作成し、CDから流れる音声を聞き、問題の答えになる絵を選択するテストを行った。

テストの結果

90%以上の正答率は以下の英語表現であった。

I have two pineapples. (100%)

I play the violin. (96%)

It's sunny. (100%)

It's a rocket. (93%)

There are many computers. (93%)

Do you like snakes? Yes, I do. (100%)

Are you in the living room? No, I'm in the kitchen. (100%)

Are you making a train? No, I'm making a car. (93%)

Are you watching TV? No, I'm reading a book. (93%)

We can see a beautiful rainbow in the sky. (100%)

Mariko is riding a bike. (93%)

天気や好きなもの、数、部屋の場所などの英語表現は、100%の正答率となっている。これは交流活動で扱っていた英語表現である。交流活動で扱わなかった英語表現の正答率は低かった。また、絵を見ればすぐに答えがわかる問題やカラーでないために絵がわかりづらく間違う問題もあったため、テスト問題の作成では課題が残った。

5.3 児童の感想や日記からとらえる意識の変化

ボストンとの英語活動について、児童は日記に書いたり、活動後に感想を書いたりしてきた。文面から、この活動がどのような意識の変化があったのかをとらえることができる。児童の感想で多いものは、「最初相手の英語がわからなかったがわかるようになった」、「相手の英語が聞き取れるようになってきた」、「交流活動で何度も話しているうちに英語がわかるようになった」である。ボストンの児童との会話を継続して行ってきたことで、児童が自分のヒアリング力の向上を実感していることがわかる。また、「自分の英語が通じた」、「話せるようになった」、「質問の返事もできるようになった」、「言うのと聞くことができた」という感想は、英語を話すことができるようになったというスピーキングに対す

る肯定的な自己評価である。さらに、「英語が好きになった」、「楽しかった」という感想が多く、今回の英語活動へ好印象を持っていることがわかる。

児童の感想より

今日の英語楽しかったあ。外国の人と話すの面白いです。外国の人って意外と優しいですね。なんか言葉が違くと難しそうでした。なんか、質問されると文、言葉の中に知っている単語が入ってるのですねとなくわかりますね。なんだか英語好きになりました。

今日は1時間目に総合で外国の人と話しました。今日話した人は前に話した人と同じ人でした。前回話したときよりだいぶ英語がわかってきたので会話らしくなってきました。

今日は本当に楽しかったです。ボストンの人と久しぶりに話せて最高です。ずっと交流をしてきて、私は初めて「将来の夢」について聞かれて少しとまどいながらも答え、通じて安心しました。インタビューもめっちゃ緊張したけど、ちゃんと答えられて良かったです。「英語は好きですか？」と聞かれ、私は息を吸って「大好きです」と答えました。英語を好きになれたのはボストンなどの皆さんのおかげです。

英語についての感想。私は英語の時間がめんどくさくてあんまり好きじゃなかったけど、外国の人とパソコンで話すことが自然と楽しくなっていて、気付いたら、好きになっていました。国を越えてつながっていることが不思議で、どんな国の人とも人間同士なら通じることができるとなあと感じました。これからも英語活動を生かして、いろいろな国の人と交流していきたいです。そして、このような貴重な体験ができて、楽しかったし、感謝の思いでいっぱいです。英語で伝えたいなあと思いました。

今日、英語でジャクソンスクールの人と話して学んだことは、努力です。最初、英語なんて役に立たないと思っていたけど、だんだん話しているうちに、外国という大きいところと話しているのがうれしくなりました。

最初の方は何を言っているかよくわかりませんでした。ジャクソンスクールの子供と話していて少しずつわかってきました。会話をしていなかったら英語もわからずにいたと思います。会話をしていたよかったです。

前までは、先生の通訳がないと全くわからなかったけれど、交流するにつれて、だんだん英語がわかるようになりました。わざわざ夜中にやってくれてるとは知らなかったけど、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ボストンの人たちには教えてもらってばかりだったので、日本のことも教えたいです。

外国の学校と話してみて、単語をたくさん覚えたわけではないけど、外国のいろいろな文化などを学ぶことができた。外国の人と話すのは何回もやったことがあるけど、今までの中で一番楽しかったです。もっと新しい単語や文化を学びたいです。

最初と比べて結構英語が話せるようになりました。最初はノラちゃんたちがしゃべっているのが全然わからなくてほとんど先生に聞いていたけど、この活動をしていて聞いてもわかるようになってきました。話していてボストンのことがよくわかりました。へたな英語を話していてgood!と言ってくれたことがうれしかったです。

私は最初、ジャクソンスクールと話するとき、英語がわからなくて逃げていました。でも、話すうちにだんだん英語に慣れてきました。あっちの子は優しくて話しやすい子ばかりでとても良かったです。質問したりして本当の友達になれたようです。

最初は、はっきりしゃべることもできず英語なんて全然わかんなかったけど、外国の人とずっと話すことによって、英語がよくわかりました。

最初は全然話せなかったけど、今はだいぶ英語がわかるようになって話せるようになったので良かったです。

最初は話すのがめんどくさいし、何を言っているのかさっぱりわからなかったけど、何回も話すうち

にどんどん覚えていって、もうだいたい言っていることはわかります。ジャクソンスクールと会話できたことをとてもラッキーだと思いました。

最初に英語をしゃべるように言われて発音のめちゃくちゃな英語をしゃべっていました。でも、今は聞き取れないけど、発音は最初と比べたら少しはよくなったんじゃないかと思います。

最初は何を言っているのかさっぱりわからなくて、自分もあまり話せなかったけれど、やっていくうちに相手が何を言っているのかがだいたいはわかるようになりました。

私は英語で外国の小学校と会話をして、外国のことがよくわかったし、英語もCDなどで聞くよりも覚えやすくて楽しかったです。

私は最初は全然できなかったけど今は少しだけできるようになりました。好きな食べ物や何歳？ とかは聞き取れるようになったのでうれしかったです。

最初の方は、何もわからなくて全然しゃべれなかったけど、だんだんわかってきて、聞き取れるようになったし、質問の返事もできるようになった。

私は英語があまり好きではなかったし、緊張してうまくしゃべれなかったりして苦手でした。ジャクソンスクールと会話をして英語の時間が楽しくなって好きになりました。言葉が通じなくても、伝えたい気持ちがあると自然に伝えることができました。楽しいし、英語も覚えられるし、私にとってこの英語の活動は勉強にもなるし楽しい時間と貴重な体験と全部が初めてで楽しかったです。

最初は、全然できなくて、言うのだけに変で、だんだん慣れると言うのと聞くことができ、同じ年齢の人と話せるのがよかったし、楽しかった。

5.4 考察

本研究の仮説である実践的コミュニケーションの能力が高まったかどうかについては、楽しみながら英語の会話が续くようになったことを評価したい。

外国の小学生と英語の会話でのやり取りが3往復4往復と続けることができるようになった。会話が续くようになった理由は、相手の英語の質問の意味がわかるようになったこと、英語での答え方がわかるようになったことが挙げられる。このヒアリング力の向上は、すぐに効果が上がったわけではない。交流活動の前半は、ネイティブスピーカーの英語を聞き取れないことがほとんどであり、いつも教師が援助しながらの会話であった。それが聞き取れるようになった。児童の意識調査や感想、児童英検の結果からヒアリング力が向上していることがわかる。ヒアリング力の向上の要因を考察すると、同じような質問に答える会話を繰り返したことで、5人程度の小グループで会話をしたこと、絵を描いたり、イラストを提示したりして会話をしたことなどが効果的に作用している。同じ質問を繰り返していると飽きてくることが多いが、インターネットで外国の小学生と話す環境では、何度も同じ会話を続けることができた。それは、相手の名前や天気、時間など毎回確認することが自然な会話であり、日本とアメリカのように離れている環境では、必然性がある内容になっているからである。

さらに、5人程度の少人数グループで活動を行ったので、英語の同じ質問について相談したり、誰かのまねをしたりして答えることができ、会話をしながら、自然に何度も英語の質問を聞く、英語の答え方を聞くことが、話す練習になっていたこともヒアリング力の向上に作用していると思われる。

また、会話をスムーズに進めるために効果的に作用していたのがイラストである。イラストがあることで会話の内容が視覚的にイメージしやすく、会話をテンポよくスムーズに進めることができた。そして、イラストで会話した体験が印象深く残り、イラストで会話する活動を繰り返すことで、イラスト、英語の質問、答えのイメージがインプットされ、ヒアリング力も高まり覚えやすくなったようである。

インターネットで会話する交流活動は、会話の中で、繰り返し同じ英語表現に触れさせる機会を増やすことにつながり、イラストを提示することで視覚的な印象と結び付き、自然にヒアリング力を向上させることができたと考えられる。その結果、ネイティブの英語の質問にもテンポよく答え、会話が3往復も4往復も続けることができ、児童の自信につながっていったと考えることができる。

初めは、英語に対して苦手意識があったり、英語は難しいという抵抗感があったりした児童も、ボストンの小学生と会話する活動の後半には、楽しいと感じて取り組んでいた。英語で会話することが楽しい、好きととらえている児童が増えたこの取り組みは、高学年での英語活動に実践的なコミュニケーションとして具体的な資料を提供することができたと思う。

6 今後の課題

今回の交流活動で、アメリカと日本の小学生同士がライブで話すことができたが、これは時差の関係があるのであくまでもボランティアに頼る活動である。アメリカの小学生は意欲のある児童が参加していたので、大変有意義な交流を続けることができた。外国の小学生と直接話す活動を取り入れる上で、時差の少ないオーストラリアやニュージーランドなどの小学校であれば授業の中での交流が可能だと思われる。実際に交流する前に、担当教師と十分な打ち合わせとイラストボードなどを準備し、実際に会話の流れを模擬的にを行い、連絡を密にすることが大切である。

外国の小学生とインターネットで話すという体験は、児童にとって非常にインパクトがある活動である。この興味関心の高い活動に、英語がわかるようになったという理解の部分が加わることで、英語の会話を楽しみ、英語が好きになっていったのである。外国とのバーチャルな交流はこれまで学んだ英語表現を生かす場となった。さらに、新しい英語表現を覚える場にもなっていった。歌やゲームだけでは、高学年の英語活動への興味関心は低下してくることが多いが、実際に外国人と話すという活動は効果的

である。しかし、実際に話す場面では、覚えた英語で自己紹介をして、好きなことなどの質問をするが、次が続かない。実際にどんな話題で会話を進めるのか、今まで覚えた英語で何を会話できるのか、小学生の視点で考えられていないのかもしれない。実際に会話を進めていくことを想定して、必要な英語表現を精選して取り入れていくことが高学年の英語活動成功の重要な要素となるであろう。

実践の課題として残ることは、不正確な英語表現での会話となっていることである。児童は Yes, No だけで答えていて、Yes, I do. で答えていなかったり、過去形になっていなかったり、複数形になっていなかったりしている。しかし、会話は成り立っているもので、児童は流れの中で不正確な英語表現のまま覚えてしまう。小学生で会話が続いて楽しめる程度ならそこまで正確に教えなくてもいいのではないかという声もあるが、覚えてしまうからこそこの時期に正確な英語に触れさせたいと思う。正確な英語表現、丁寧な英語表現をインプットしていく重要性を感じた。今後、どんな英語表現をバーチャルに会話する環境の中で取り入れていくか、話題に合わせて小学生に必要な英語表現を精選し、イラストボードや写真提示を工夫しながら、これからも研究を続けていきたい。

謝 辞

この研究の機会を与えてくださった(財)日本英語検定協会選考委員の先生方、特にまとめの段階でご助言いただきました大友賢二先生に心より感謝申し上げます。また、ボストンの交流校 Jackson School の Lorraine Leo 先生、時差の関係で自宅から参加してくれた Jackson School の子供たちに心からありがとうを伝えたいと思います。

参考文献 (*は引用文献)

- * アルクキッズ英語編集部.(2007).「はじめての児童英検 ブロンズ対応版」.